

# クールジャパン関連予算（令和2年度政府提出予算）

令和2年度クールジャパン関連予算合計・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 552億円

## 一般会計（主要事業）

- **文化資源（文化財等）を活用したインバウンドのための環境整備（観光庁（文化庁））**・・・・・・・・ 98億円

日本博を契機とした観光コンテンツの拡充、先端技術を駆使した日本文化の魅力発信、文化財の先進的・高次元な多言語解説の整備等を実施。

- **農林水産物・食品の政府一体となった輸出力強化のうち、海外需要創出等支援対策事業（農水省）**・・・・・・・・ 28億円

日本産農林水産物・食品のトップセールス、日本食・食文化の普及を担う料理人等の育成等を支援。

- **対日理解促進交流プログラム（外務省）**・・・・・・・・ 18億円

対外発信力を有する人材を招へい・派遣し、我が国の政治、経済、文化、歴史等に関する理解促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘。

- **地域文化財総合活用推進事業（地域文化遺産）（文化庁）**・・ 11億円

地域の文化財の総合的な活用を推進するため、伝統行事・伝統芸能の公開・後継者育成等、地域の文化遺産を活用した特色ある総合的な取り組みを支援。

## 特別会計（財投特会）

- **(株)海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）による出資（経産省）**・・・・・・・・ 230億円

魅力ある商品やサービス等の海外における需要開拓等の事業活動に対し、リスクマネー供給等の支援を実施。

## 一般会計（主要事業）

※ 上記以外に、金額は明示されていないが、クールジャパン関連の施策を含むもの。（主要事業）

- **(独)日本貿易振興機構運営費交付金（経産省）**・・ 254億円の内数

食品の輸出促進、企業の海外展開促進等のため、海外市場調査、プロモーション、海外見本市への出展支援、商談会の開催等を実施。

- **訪日プロモーション関連事業（観光庁）**・・・・・・・・ 150億円の内数

グローバルメディアを活用した地域の魅力発信や、国別戦略に基づくプロモーションにより、更なる誘客を促進。

- **「ジャパン・ハウス」事業の実施（外務省）**・・・・・・・・ 38億円の内数

ロンドン、ロサンゼルス、サンパウロの3都市で「オールジャパン」の発信拠点であるジャパン・ハウスを運営。

## 特別会計（特許特会）

- **海外知的財産プロデューサー（特許庁）**・・・・・・・・ 122億円の内数

企業での海外駐在経験と知財マネジメント経験を有する専門家（海外知的財産プロデューサー）が、海外ビジネスにおける知的財産リスクの低減や知的財産の活用等の観点から支援。

- **農山漁村振興交付金のうち「農泊」の推進（農水省）**・・・・・・・・ 50億円

地域資源を観光コンテンツとして磨き上げる取組や、古民家等を活用した滞在施設等の整備等ソフト・ハードの取組を支援。

- **博物館文化拠点機能強化プラン（文化庁）**・・・・・・・・ 20億円

博物館の文化資源を活かした地域のまちづくり・観光施策と併せた事業展開、学芸員等の人材育成、ICOM京都2019大会を契機とした博物館機能強化に資する取組への支援。

- **地域未来投資促進事業費のうち、地域企業イノベーション促進事業（経産省）**・・・・・・・・ 12億円

地域経済の担い手となる企業群の新事業への挑戦を促すため、地域の支援機関からなる支援ネットワークを構築するとともに、新事業に取り組む地域企業群に対して販路開拓などを総合的に支援。

- **国立公園満喫プロジェクト等推進事業（環境省）**・・・・ 172億円の内数

国立公園毎に立ち上げた地域協議会で策定したステップアッププログラムに基づく各種取組等を実施。

※国際観光旅客税財源充当事業を含む

- **国際交流基金事業（外務省）**・・・・・・・・ 127億円の内数

世界の全地域において総合的に国際文化交流事業を実施。

- **日本産酒類の競争力強化・海外展開推進事業（国研庁）**・13億円の内数

日本産酒類の競争力強化や海外展開を推進するため、日本産酒類の情報発信、輸出環境整備や技術支援等を実施。